

いっしょにミッション！

～ワークショップのご案内

となりび

CHALLENGE

日本に住む外国籍の方々のとなりびとになろう

となりびとチャレンジとは
どのようにして海外から来られた方々の
となりびとになることができるのかを
一緒に考えるワークショップです

2026年現在、日本では在留外国人が人口の3%以上を占め、その数は年々増加傾向にあります。私たちは、どのように神さまの愛を伝えることができるでしょうか。また、どのようにしたら宣教の働きをともに担うことができるでしょうか。現状を知り、互いの経験を分かち合い、聖書に耳を傾け、主が求めておられることを、ともに考えましょう。

オンライン可

出張開催、受付中

お申し込み、ご質問などは事務局まで

✉ hc@omf.or.jp ☎ 047-324-3286

OMF日本ホームサイドセンター



ワークショップ内容

段階ごとに、Part 1 から3まで3種類のワークショップがあります。初めてワークショップを受講される方は、Part 1 からの参加をお勧めします。

● Part 1 となりびとは誰ですか？

入門編。外国語での賛美や海外での困り事を疑似体験していただくことを通し「体験的な理解」を目指します。現状を知り、みことばに耳を傾け、自分たちにできることを考えグループで話し合います。

● Part 2 多文化共生教会を目指して

教会が異文化の方々を受け入れ、多文化共生の教会になっていくときに理解すべきことを学びます。具体的な事例を挙げながら、直面する課題と解決方法を一緒に考えます。

● Part 3 地域に出ていこう～プレイヤー・ウォーク

プレイヤー・ウォーク体験。Part1・2を振り返りながら、実際に街へ出て行きます。地域の特色に目を向け、街の状況を五感で感じ取りつつ、その地のために祈ります。歩きながら祈る中で、現在の状況を思い巡らし、主の語りかけに耳を澄ませ、互いに分かち合う時をもちます。

tonari:
bitochallenge

参加者の声

「それなら私たちにもできそう」——それがセミナー後に与えられた思いでした。私たちはごく普通の日本の教会で、私自身も英語を話せない牧師です。しかし地域に外国の方が増える中で、神様からのチャレンジを感じるようになりました。OMFのセミナーを通して地域の状況を知り、特別な教会でなくても取り組める具体的な一歩を学びました。その一つとして、外国人のための日本語練習の場「日本語広場」を始めました。多くの教会にできることがあります。ぜひともにチャレンジしましょう。



蒲郡キリスト教会/
岡崎南キリスト教会
新谷 聖美 牧師



教区の連合女性会の集会で、「となりびとチャレンジ」のワークショップがありました。「どんなことをするのか？」と、わくわくしながら参加しました。体験型プログラムで、いろいろな言葉で賛美をしたり、自分で考えて意見を分かち合ったり、有意義なひとときでした。その後、地域や職場で実践された参加者もおられました。私たちの「となりびと」になってくださった主イエスを仰ぎつつ、「となりびとチャレンジ」を続けていきたいと思っています。



清瀬バプテスト教会
松田 真之介 牧師